

# 農業経営士・青年農業士・VICウーマンの新規認定

県では、地域農業のリーダーとして指導的役割を果たしている農業者を農業経営士、将来、地域農業の推進者となり得る農業青年を青年農業士に認定しています。

また、地域農林水産業の振興や農山漁村の活性化を担う女性リーダーを、VIC・ウーマンに認定しています。

今年度は、農業経営士1名、青年農業士3名、VIC・ウーマン3名が認定されました。

## 農業経営士



氏名：高村 泰公 氏  
市町村名：五戸町  
品目：ながいも、ごぼう、にんにく、ねぎ、水稻  
取組：複合経営の大規模化により通年雇用を実現しています。スマート農機の導入、資材のコスト低減や作業の効率化を図っています。

## 青年農業士



氏名：漆戸 啓 氏  
市町村名：五戸町  
品目：りんご  
取組：青森県特別栽培農作物の認証を受けているほか、直接販売をしています。地元の保育園を対象にした食育活動を行っています。

## VIC



氏名：井畑 育子 氏  
市町村名：三戸町  
品目：畜産（酪農+繁殖）  
水稻、にんにく、玉ねぎ  
取組：酪農を中心とした複合経営、三戸町農業委員、県内外からの中高生のホームステイ受入れ、農福連携に取り組んでいます。

## 青年農業士



氏名：上沢 洋貴 氏  
市町村名：田子町  
品目：にんにく  
取組：田子町オリジナルにんにく品種「たっこ1号」（愛称：美六姫）に適した栽培法の確立に向けて仲間達と取り組んでいます。

## VIC



氏名：松原 涼子 氏  
市町村名：三戸町  
品目：葉たばこ、水稻  
取組：青森県たばこ耕作組合三戸支部女性部副部長を務め、研修の企画や葉たばこの品質・作業効率向上に取り組んでいます。

## 青年農業士



氏名：高根 貴明 氏  
市町村名：新郷村  
品目：酪農、肉用牛繁殖  
取組：肉用牛繁殖を担当しており、「Farmnote」を導入し、産歴などをデータで管理することで繁殖成績の向上を図っています。

## VIC



氏名：小宮 香 氏  
市町村名：五戸町  
品目：丸いも、藍、エゴマ  
取組：丸いもの生産、給食への導入に取り組むほか、子どもの居場所づくり、体験農場、地域食堂などの地域活動に取り組んでいます。

○本年4月から組織の名称が変わります  
旧：三八地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室  
→新：三八農林水産事務所 農業普及振興室  
○農業普及振興室ホームページは右のQRコードを参照して下さい。



# みどりの通信 令和6年度第2号

〈三八地域県民局地域農林水産部〉

- 農業普及振興室  
〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7番地  
TEL：0178-27-5111（代表）  
TEL：0178-27-4444（直通）  
FAX：0178-27-3323
- 農業普及振興室分室  
〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7  
TEL：0179-23-3264  
FAX：0179-23-3274

## 南部町の沼畑俊一氏が農事功績者表彰（緑白綬有功章）を受章！

令和6年11月14日、（公社）大日本農会総裁 秋篠宮皇嗣殿下のご臨席の下、農事功績者の表彰式が執り行われました。

沼畑氏は、果樹、野菜、肉用鶏を組み合わせた複合経営（法人）により、多様な流通および販売戦略を駆使して高収益の農業経営を確立されました。

さらに、西洋なし（ゼネラル・レクラーク等）の生産、おうとうの雨よけハウス、ミニトマトの自動点滴灌水システムの先導的導入、ならびに在来種「南部太ねぎ」の復活に寄与されました。

また、県なし振興協会会長、JAさくらんぼ部会会長、地区農業士会会長等の各役職を務め、産地形成に大きく貢献されるとともに、視察や研修生の受け入れなど、担い手育成にも尽力された点が高く評価されました。



沼畑 俊一 氏

## 南部町の留目秀樹・佐智子夫妻が全国果樹技術・経営コンクール農林水産大臣賞を受賞！

（公財）中央果実協会等が主催する本コンクールは、全国の果樹農業経営体等の中から、技術面や経営改善の観点で先進的かつ他の模範となる経営体を表彰するものです。

令和7年2月20日に都内で開催された第26回目の表彰式において、留目夫妻に農林水産大臣賞が授与されました。

留目夫妻は、本県唯一のおうとう加温栽培や「ジュノハート」の高品質・安定生産を実現しているほか、省力技術の導入によって作業の効率化を図り、パソコンを活用した経営管理の合理化やECサイト運営の効率化にも取り組んでいる点が高く評価されました。



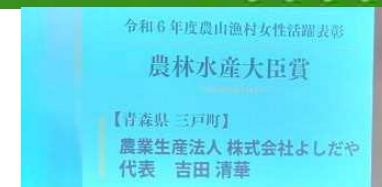
留目 秀樹・佐智子夫妻

## 農業生産法人 株式会社よしだや 吉田清華氏（三戸町）が「農山漁村女性活躍表彰」で農林水産大臣賞を受賞！

農山漁村男女共同参画推進協議会が実施する「令和6年度農山漁村女性活躍表彰」の「女性活躍経営体部門」において、同社代表取締役の吉田氏が農林水産大臣賞を受賞しました。

同社はにんにくの生産・加工・販売・飲食店事業を展開し、時間単位で取得できる休暇制度や短時間勤務制度、育児・介護休業制度の整備、機械作業の効率化による作業環境の改善、研修による人材育成などに取り組んでいます。

こうした取り組みにより、女性の従業員が約7割を占めるなど、特性に合わせて個々の能力が発揮される職場環境を創出している点が高く評価されました。



表彰式(3月6日)における吉田清華氏(左から2人目)

### 三八地域ながいも担い手育成塾研修会を開催

ながいも産地を担う若手生産者を対象とした冬季研修会を、令和7年2月18日にJ A八戸と共同で八戸合庁にて開催し、担い手育成塾生やながいもの達人など34名が参加しました。農業普及振興室からは、①本年産の作柄と次年産に向けた対策、②成いもの小切片から子いもを増殖する実証試験の結果について情報提供しました。

また、(地独)野菜研究所栽培部からは、①平いもやこぶの要因となる施肥体系、②茎葉の繁茂状況や土壌中の硝酸態窒素濃度を基にした追肥の判断方法、③排水対策についての研究成果が報告されました。参加者の関心は高く、「天候に応じた追肥を行いたい」「縦割れが多いので改善したい」などの意見が出され、大和山部長からも地力に応じた肥培管理に関する助言がありました。



活発に行われた意見交換の様子

その後の情報交換会では、参加者同士が互いの栽培技術を共有しながら、品質改善への意欲をさらに高めました。

### にんにく省力化セミナーを開催 (三八にんにく産地ステージアップ事業)



講演する宮村氏

県内でも古くからにんにくが栽培されてきた当地域では、生産者の高齢化や労働力不足が課題となっています。こうした課題の解決に向け、省力化など対策を紹介するセミナー

を令和7年2月12日にグランドサンピア八戸で開催し、49名が参加しました。

農業普及振興室からは、経営規模に合わせた機械の導入や福祉事業所に委託できる作業の事例などを情報提供しました。さらに、農業機械メーカーからは衛星画像による栽培管理支援システムが紹介され、AIを活用したセンシングデータがにんにく栽培にも利用できることが示されました。

また、若手生産者の一人である宮村祐貴氏(田子町)は、自身の生産物を購入してくれる人たちが農作業と一緒に楽しむために集まるようになった事例について講演しました。参加者は、新しい技術や取り組みについて質問するなど、大きな関心を寄せていました。



会場の生産者による質疑の様子

### 「おてつたび」で農繁期の人手を確保 (三八型農業経営改善モデル事業)

農業普及振興室では、今年度から、地域ぐるみで農業経営力向上に向けた改善活動を支援し、その取組手法を広く普及することで管内の農業者等の所得向上を図るため、「三八型農業経営改善モデル創出事業」を実施しました。

本事業では、①首都圏在住者など農作業を手伝う人材受入による労働力確保と地域との交流人口増加を目指す「都市農村交流推進モデル」、②首都圏等に在住する高度な人材を副業として活用し、売上増加に取り組む「副業人材活用モデル」、③農業者が連携して行うことでより大きな効果を得る「農業者間の連携強化モデル」の3つのテーマで、農業者の活動を支援しました。

今回は、そのうちの①「都市農村交流推進モデル」の取組について紹介します。

令和6年9月から12月にかけて、11戸の農家がプラットフォーム「おてつたび」を通じて“旅をしながら仕事をする人材”を募集したところ、東京都や千葉県、大阪府などから延べ20名が採用され、にんにくの植付けやごぼう・長ねぎ・りんご・西洋なしの収穫などの農作業に従事しました。

募集を開始してから概ね2日間で、定員の約2.5倍の申し込みがあるなど、交通費を自己負担してでも農作業に従事したい人材が全国にいたことがわかりました。また、採用した農家からも「当初の想定以上に意欲的で、即戦力になってくれた」と好評でした。

募集を開始してから概ね2日間で、定員の約2.5倍の申し込みがあるなど、交通費を自己負担してでも農作業に従事したい人材が全国にいたことがわかりました。



おてつたびでレクラークの収穫作業

また、採用した農家からも「当初の想定以上に意欲的で、即戦力になってくれた」と好評でした。

また、採用した農家からも「当初の想定以上に意欲的で、即戦力になってくれた」と好評でした。

### カッチャレンジャークラブ 全国へ!

五戸町と新郷村の女性農業者組織である同クラブは、全員が大型特殊免許を取得しており、平成14年の設立以来、農作業安全啓発活動を行う唯一無二の組織です。

この活躍に注目した株式会社クボタが、農作業安全啓発動画への出演を依頼し、同クラブは見事全国デビューを果たしました。

動画では、令和6年11月、会長の類家裕子さんと副会長の高村りり子さん(いずれも当時の役職)の2名が鹿児島県大崎町の(有)大崎農園を訪れ、同農園が「GLOBAL G.A.P(グローバルギャップ)」に基づいて実施している農作業安全の取り組みを視察したほか、一緒にKYT(危険予知トレーニング)を行っています。



(株)クボタによるカッチャレンジャークラブ取材の様子

その様子は、(株)クボタのオンラインイベント「GROUND BREAKERS(グラウンドブレイカーズ)」で配信されました。

### 4Hクラブって?

### 新規会員募集中!

4Hクラブでは、若手農業者が集まって、消費者との交流、自らの農業の課題解決に取り組んでいます。仲間同士の情報交換もしています。

ぜひ参加してみませんか? 興味のある方は、お気軽にご連絡下さい。

窓口: 八戸地区(三八・農業普及振興室) : 0178-27-4444

三戸地区(三八・農業普及振興室分室) : 0179-23-3264



若手農業者が協力して地域を活性化しよう!